

# 第5期横浜市教育振興基本計画素案に関する パブリックコメントの実施結果について

令和8年2月  
横浜市教育委員会

# パブリックコメントの実施結果について

第5期横浜市教育振興基本計画素案について、以下のとおりパブリックコメントを実施し、多くの貴重な御意見をいただきました。いただいた御意見の一部を原案に反映し、「第5期横浜市教育振興基本計画」を策定します。

## 1 実施概要

### (1) 実施期間

令和7年12月17日（水）～令和8年1月19日（月）

### (2) 周知方法

- ア 市ホームページ及び広報よこはま（12月号）への掲載
- イ 素案冊子の閲覧及び概要版の配布
- 市民情報センター、各区役所広報相談係、行政サービスコーナー、市立図書館等での配布・閲覧
- ウ SNS等での配信
- 家庭と学校の連絡システム「すぐーる」、教育委員会公式X、市LINEでパブリックコメントの実施について配信・周知
- エ 児童生徒への周知
- 市立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校に通う児童生徒に対して、1人1台端末を用いて、5期計画（やさしい概要版）及び子ども向けリーフレットも含めて配布

### (3) 意見提出方法

横浜市電子申請・届出システム、電子メール、郵送、FAX、1人1台端末上の回答フォーム（市立学校の児童生徒のみ）

## 2 実施結果

### (1) 意見提出状況

**提出数 9,737通 意見数 36,697件**（参考）4期計画の合計数：170通、354件

提出手段	通数	意見数
電子申請	488通	699件
メール	15通	29件
郵送	2通	2件
FAX	6通	6件
手渡し	0通	0件
計：	511通	736件

居住地	通数
市内	482通
市外	27通
未回答	2通
計：	511通

提出手段	通数	意見数
1人1台端末（児童生徒）	9,226通	35,961件

### (2) 年代別意見数

年代	通数	意見数
～10歳代	9,522通	36,336件
20歳代	7通	8件
30歳代	40通	67件
40歳代	91通	159件
50歳代	36通	68件
60歳代	11通	15件
70歳代	9通	13件
80歳代～	0通	0件
未回答	21通	31件
計：	9,737通	36,697件

※1人1台端末からの投稿は、～10歳代に振り分けています。

(3) 項目別意見数

項目	意見数	うち1人1台端末 (児童生徒)の意見数
計画全体について	96件	72件
第1章「はじめに」について	1件	0件
柱1 全ての子どもの可能性を広げる学びの推進	7,100件	6,782件
柱2 ともに未来を創るグローバル人材の育成	4,346件	4,318件
柱3 安心して学べる環境づくり	4,102件	4,058件
柱4 社会全体で子どもを支える教育の推進	3,306件	3,286件
柱5 子どもたちの学びを支える魅力ある教職員	5,101件	5,016件
柱6 子どもの学びを充実させる学校規模と学校施設	4,601件	4,434件
柱7 市民の豊かな学び	3,790件	3,770件
その他	4,083件	4,058件
計：	36,526件	35,794件

※柱は、基本的に提出の際に選択いただいています。

(4) ご意見への対応状況

対応状況	説明	意見数	うち1人1台端末 (児童生徒)の意見数
賛同	素案と同趣旨及び賛同いただいたもの	2,471件	2,452件
修正	ご意見の趣旨を踏まえ、原案に反映したもの	903件	886件
参考	取組等を進める際の参考とさせていただくもの	26,559件	25,891件
その他	その他のご意見・要望等	6,593件	6,565件
計：	36,526件	35,794件	

(5) 意見一覧及び意見に対する考え方

別紙「素案に対するパブリックコメントの意見一覧」のとおり

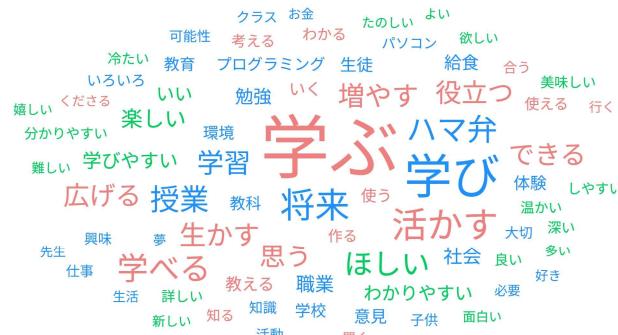
※いただいた意見については、基本的に原文を掲載していますが、横浜市パブリックコメント実施要綱等に基づき、非公表等にしている場合があります。

### 3 児童生徒を対象にパブリックコメントを実施したことに係る振り返り

児童生徒からは、日々の教育活動に対する感想や自分の将来を意識した前向きな意見が多く集まりました。一方、児童生徒にとって、学校は、学びの場であるとともに生活の場でもあるからこそ、具体的な改善点等も多く集まりました。こうした意見は、教育委員会事務局をあげて対応への着手を始めています。

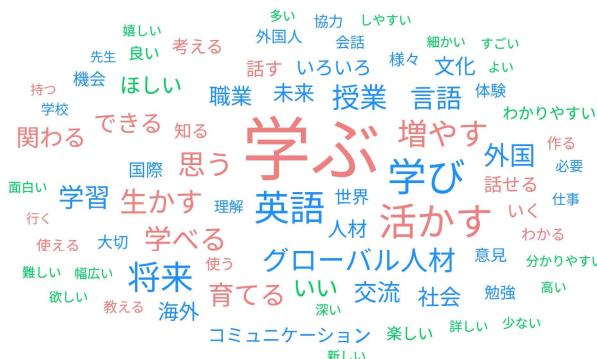
これからも、児童生徒の意見を聴き、その意見を日々の教育活動に反映していくことはもちろん、その前提として、意見を表明しやすい安心できる環境づくりとともに、どのように意見を形成して表明するかなどについても学べるようにしていきたいと考えています。

## 柱1 全ての子どもの可能性を広げる学びの推進



※各柱に対する意見の中で多く使用されている単語を可視化（出現回数が多いものほど大きく表示）。

## 柱2 ともに未来を創るグローバル人材の育成



### 【寄せられた意見の例（原文）】

「みんなの「どうしてだろう」「やってみたい」という気持ちを大切にできる学びが広がってほしいと思います。自分で考え、調べ、友だちと意見を出し合うような学びができれば、将来わからないこと出会いあってもあきらめずに挑戦できる力になり、学校で身につけた考える力や工夫する力を、社会で役立てられるように活かしていきたいです。」

「生徒に教えるだけではなく、生徒自身に問いかけることで「なんで」「どうして」を仲間と共有したり発表し合ったりする学びをしたいです。また、日常生活に活かすためにはどうすればいいか、生徒と一緒に考える学びもしてみたいです。」

「国語、社会、英語、数学、理科などとは別に、その人にあった学び（プログラミング、全て英語で話す授業）などを増やしてほしい。グローバルな社会になってきている世の中なので、英語で他国との関わりを深めてより良い世界をみんなで支え合っていく社会を創りたい。」

「一人一人に合った学習ができる学校。できれば個別でAI的なものがついてきて問題についてわかりやすく解説などをしてくれるものなどが合ったら、先生や児童がより楽に、わかりやすくできる場になると思う。」

「「ハマ弁」をもっと温かく、美味しい味のものにしてほしいです。良い成長のためには栄養のある食事も必要ですが、それがもっと美味しいと思えるものではないと、そもそも栄養のある食事を取ることができなくなると思います。」

「今社会の課題をまとめて教えてほしいです。素直に実践したら成長できることを学校で教えるべきだと思います。私も不登校ですが、将来の視野を広く持つこと・自分ができることを知ることが社会復帰やポジティブ思考に変わると思います。」

「もちろん、現在やっているような英語の文法的な部分も必要だと思うが、AETの先生と直接話せる機会がもうある」とよいと思った。特にSEPROでは、日本人同士の会話では得られない感覚を感じられてよかったです。」

「学校で学んでいる国際的な問題についての生徒の意見などを日本国内の学校だけで共有するのではなく、海外の学校の生徒が考えた意見なども共有できるようにしてほしいです。そうすることで様々な国についても理解を深めることができますとおもうのでいいと思いました。」

「海外の中学生などとの交流をオンラインなどを通じて、課題や実験成果などを発表しあう。」

「外国のことについてたくさん知り、外国人との交流を増やし、全体として横浜から海外で活躍する人材の教育をしてほしい。」

「横浜市について、もっと関わりたい」と思います。2年後にはGREEN×EXPOもあるので、それについてももっと知ったりかかわったりしたいです。」

### 柱3 安心して学べる環境づくり

わかりやすい 気軽 うるさい 大丈夫 すぎる よい  
静か 大人 優しい アンケート 少ない  
集中 明るい 学ぶ いく つくる 作る 教室 辛い  
聞く 尊重 学校 大切 意見 良い  
嬉しい しやすい 生徒 困る 思う クラス  
嬉しい 難しい 話す ほし できる 周り  
寄り添う まま 場所 雰囲気  
勉強 なくす 嫌 ほし できる 考える  
安全 安心 学べる 環境 いじめ  
友達 欲しい 守る 見る 一人ひとり 学習 不安  
悪い くださる やさしい くれる 先生 いい 悩み  
かる 子供 言う 厳しい 怖い  
かる 気持ち

#### 柱4 社会全体で子どもを支える教育の推進

「安心できないところでは学ぶ意欲もわかないもので、安心して学べる環境はあるべきものだと思う。いじめや陰口がないところだと安心して学ぶことができると思うので、それを大切にしてほしい。」

「誰1人孤立せず、孤独感を感じない学習環境が必要だと思う。カウンセラーの先生や担任の先生など、学習面を中心に、様々なことを相談できる相手がいてくれると安心して学べるかもしれません。」

「暴力やいじめなどがなくみんな仲良しで不安なことがあってもすぐ先生に相談できる環境があればいいと思います。」

「子どもが失敗を恐れずに発言でき、自分らしくいられる「心の居場所」としての環境づくりが重視されている。」

「デジタル機器を使って子供のSOSに気づくというのがとてもいいと思います。そしたらSOSを伝えるのに勇気もあまりいらないで気軽に大人に伝えられると思ったからです。」

「毎朝学校に来てから**健康観察**をデジタルするときに、「先生に言いたいことや何か一言あったら書いてください」という欄があって、その欄があるので、先生に直接言いづらいことも先生がその一言の欄を見て気づいてくれるので、もし私も「先生に言いたいけどとても話しづらいな」と思うことがあったら、その欄に書いておくれるのでとても安心しています。」

「困ったときにすぐ相談できるように、話をしっかり聞いてくれる環境をつくってほしい。また、失敗しても大丈夫だと思えるように、あなたたかく見守ってほしい。」

「大人たちが朝などに立ってくれると安心して登校できます。」

「地域のみんなで協力する機会を増やし、地域のつながりを強くしたい。」

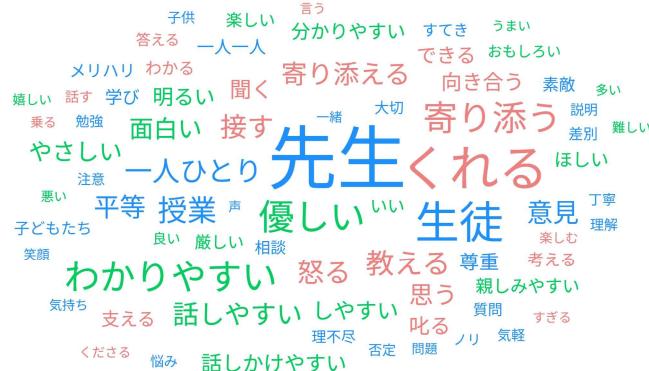
「もっと安心して生活できるような空間や気軽に悩みなどを相談できる場を作ってほしいです。」

「子どもたちがトラブルに合った、子どもたちがここは危ない、などの意見をその地域全体で意見を共有し合って地域全体で取り組むことが重要であると思う。」

「子供の自殺が毎年増えつつあり、多くの子供が心の抛り所がなく、頼れずにいます。その為多くの大人たちが、一つ一つを重大に考え、意見を聞き、多くの子供たちの命が少しでも救われるといいなと思います。」

「学校の周辺地域との関わり合いの時間が今よりも増えればいいと思います。」

## 柱5 子どもたちの学びを支える魅力ある教職員



「みんながわかるように、興味を持つようにわかりやすく授業したり、つまずく難しいところとか丁寧に教えてくれたり、質問しやすい雰囲気のある先生が素敵だと思う。」

「生徒がよくないことをしたときはしっかり怒って、生徒がなにか達成したときに「やったね！」といっしょに喜んでくれたり、授業を生徒といっしょにつくっていってくれる先生がすてきだと思います。」

「熱意あふれる授業と一生懸命な先生。AIじゃ教えられないことを教えてくれる人。」

「生徒の意見を反映させたり、相談をしやすいようにしてほしいです。」

「ニュースとかでやってる、教師の不祥事をできるだけ減らしてほしいです。」

## 柱7 市民の豊かな学び



「家や、遊びに行った先まで、いろんなところで学びや発見ができる街だと嬉しいです。」

「横浜市が行っている環境保全に関する内容を横浜市民の目にふと入るような場所で発表されれば、学びにつながり広がっていくと思います。」

「図書館や地区センター、会館、などの地域、地域の方と関わる事ができる施設などで、私達の住んでいる「よこはま」について、学習できるようなイベント、学習会のようなものを行うと良いと思います。小学生も中学生も大人も、誰もが気軽に行って、いろいろな事を知る、学習できる場所、イベントを行うと良いと思う。」

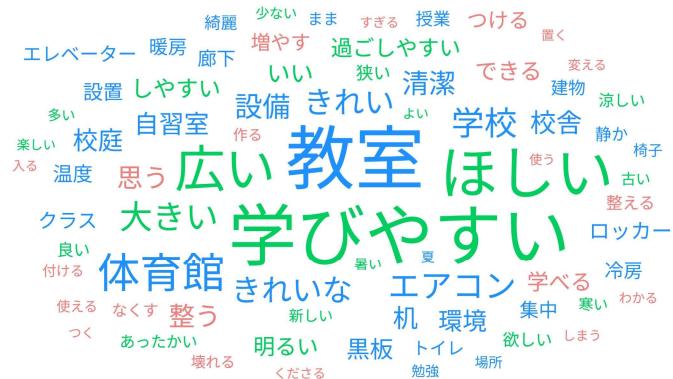
「学校以外の学びなら、より学校ではできないような実習的な学びをしたいです。例えば、農業や産業の体験や、生物育成、ものづくりなど学校よりも充実した実習的な学びをしたいです。」

「今の横浜がどうできたのかなど昔の横浜の歴史を伝える学びをもう少し増やしたほうがいいと思います。また最近の横浜について将来の横浜についての学びも増やしたほうがより楽しくなると思います」

「歴史を学べる博物館やいろいろな国の人との関わる機会がほしい。」

「図書館とかで情報整理、情報を得ることなどを学べたらなと思っています。」

## 柱6 子どもの学びを充実させる学校規模と学校施設



「ちょうどいい人数で学べる学校はいい具合に新しい人の関わりなどもあって良いと思う。」

「皆が気持ちよく授業を受けられる環境づくり。空調設備の充実(熱中症対策)や体調不良時に安心していられる場所。」

「施設の老朽化や、改修工事をしてほしい。」

「壁一面がホワイトボードになっていたり、最新のデジタル設備が整っていたりする「未来を感じるきれいな校舎」であってほしいです。整理整頓された機能的な教室は、私たちの「どうしてかな？」という疑問をすぐに形にする手助けをしてくれます。ワクワクするようなおしゃれな空間があれば、自分の可能性をもっと試したいという意欲が湧き、グローバルな課題にも前向きに挑むパワーが生まれます。」